

立川市はワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を応援しています！

人材を活かし、戦力としていくために企業にはワーク・ライフ・バランスが必要です

ニーズの多様化や経済のグローバル化が進むなど、社会経済の情勢変化のスピードは速く、変化に機敏に対応する力がないと企業は生き残っていきません。少子高齢化の影響で、中長期的に見ると若年労働者が不足し、労働人口は確実に減少します。働きながら育児をする人、親の介護を担う人も多くなっています。また、共働き家庭が増え、家庭や地域での役割を担いながら働く人が増えています。

企業が変化への適応力を蓄え、持続的に成長していくためには、女性・高齢者を含め多様な人材を積極的に活かし、戦力としていく必要があります。その手段として有効なのがワーク・ライフ・バランスを基本に据えた企業戦略なのです。

過去の認定事業所紹介

- ・富士ゼロックス多摩株式会社
- ・医療法人財団 立川中央病院
- ・国家公務員共済組合連合会 立川病院
- ・株式会社アドックインターナショナル
- ・社会医療法人社団健生会 立川相互病院
- ・株式会社日本政策金融公庫 立川支店
- ・イケア・ジャパン株式会社 イケア立川
- ・希望法律事務所
- ・東京西サトー製品販売株式会社
- ・株式会社テイルウィンドシステム
- ・多摩信用金庫
- ・株式会社自然教育研究センター
- ・第一生命保険株式会社 立川支社
- ・中村建設株式会社
- ・株式会社立飛ホールディングス
- ・株式会社コスモ・インテリジェンス



ワーク・ライフ・バランスの取り組み具体例

- 育児・介護などの休業制度や誕生日休暇などの休暇制度の整備
- 残業抑制政策や短時間勤務制度、フレックスタイム制度等の「働く時間の見直し」
- 在宅勤務、サテライトオフィス等の「働く場所の見直し」
- 結婚・出産で退職した女性の再雇用やパート等から正社員への転換制度等の「働くスタイルを選択できる制度の整備」
- 結婚・出産等のライフイベントを考慮に入れたキャリア目標設定、研修・情報提供・ロールモデルの提示、メンター制度等の「キャリア・ライフプランニング支援」
- 保育サービスや介護関連費用、自己啓発費用などの補助、企業主導型保育所の整備、祝い金制度などの「経済的支援」など

ワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を募集しています！

ワーク・ライフ・バランス推進認定事業所には認定証を交付し、取り組みについて市ホームページや市広報等で広く紹介しています。「仕事と家庭の両立を推進し、男女共に働きやすい職場」を目指す職場の皆さん、ぜひご応募ください。

お問合せ先 立川市総合政策部男女平等参画課 TEL:042-528-6801

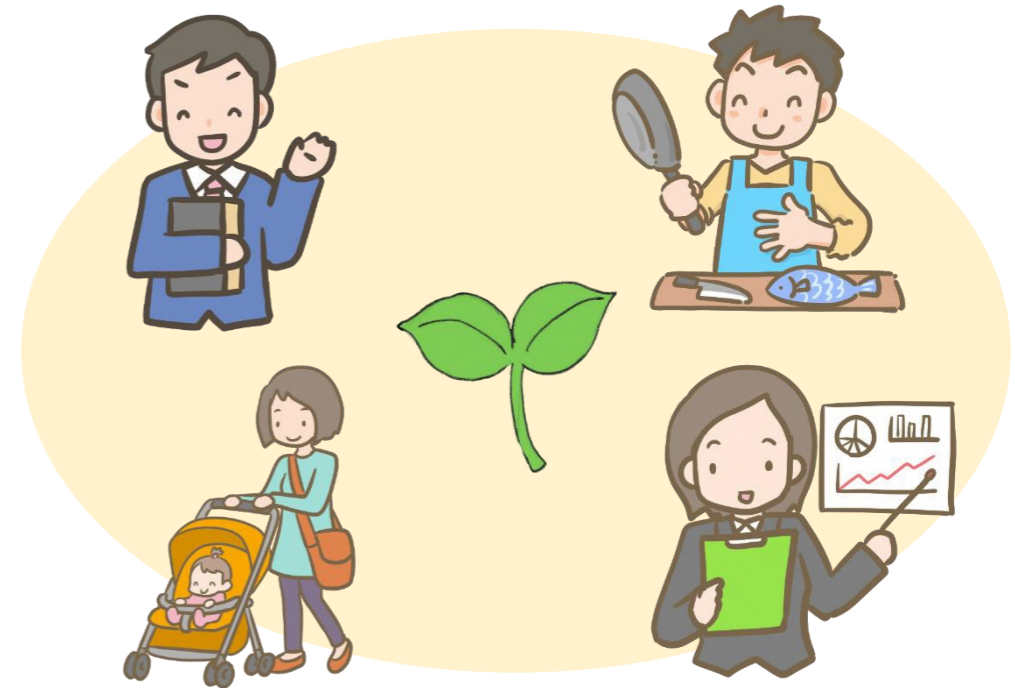


立川市総合政策部男女平等参画課
〒190-012 東京都立川市曙町2-36-2 立川市女性総合センター内
TEL:042-528-6801 FAX:042-528-6805
<http://www.city.tachikawa.lg.jp>

平成30年度 立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定

WORK - LIFE - BALANCE TACHIKAWA MODEL

認定事業所の主な取り組み



仕事と生活の “相乗効果”を生み出すのが ワーク・ライフ・バランスです

立川市では、事業所におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ることを目的とした「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定」を行っています。平成30年度は、仕事と家庭の両立や男女共に働きやすい職場環境づくりの促進に努めている2事業所を認定しました。認定事業所の主な取り組みをご紹介します。

立川市

株式会社 シーズプレイス



会社概要

住所 : 立川市錦町1-4-4サニービル2F
 事業概要 : 創業・就業支援事業
 子育て支援事業 地域活性化事業
 男女共同参画事業
 従業員数 : 54名 (男性4名・女性50名)

多様性を認め合いながら『お互い様』で支え合う社会を目指して

シーズプレイスでは、10代~70代まで幅広い年代の方が活躍しています。従業員の多くは子育て中の母親ですが、個人の希望に応じて柔軟に勤務形態を変えることで、それまで勤務が困難だった方が仕事を再開出来た例が多数あるそうです。

時間意識が高い従業員が多く、残業はほとんどありません。お互い様の風土が根付いているためお休みも非常に取りやすくなっています。ミーティングや日常のコミュニケーションを密に行い、引継ぎ事項や困っている点、嬉しい点などを共有しあい意思の疎通を図っています。



本所に併設されている保育園は明るく開放的。子供達の楽しそうな声が響いています。



～森林社長の声～

育児、介護、高齢など制約や色々なバックグラウンドを持つ人が活躍できる、多様性を認め合える社会を作りたい、そんな思いを持ってシーズプレイスを立ち上げたので、ワーク・ライフ・バランスの取り組みは会社の設立に直結しています。せつかくの自分の人生を、女性だから、子育てしているから、とあきらめて欲しくない。ライフスタイルにあった働き方をもっとフレキシブルに選べるような社会にしていけることが重要だと考えています。

取り組みや制度

- 併設保育園利用可能
- 柔軟な勤務形態 (テレワーク等)
- 全従業員の誕生日にお食事会
- 格安で栄養士監修の昼食提供



活気に満ちている
コワーキングスペース

9歳と1歳の子供がいます。1歳の子は、就業先に併設されている保育園に通っているため、いつでも顔が見えるのがとても嬉しいですね。シーズプレイスに入るきっかけになったのが、シーズプレイスが主催している“ママ・ドラフト会議®(※)”でした。そこで社長に声を掛けていただいて、今もここで働いています。日々の働き方で心掛けていることは、隙間時間を無駄にしないこと、メールやLINEの返信は早めに行うこと、自分のところで仕事が滞らないように気を付けています。働きやすさは“最高”です。やりがいのある仕事を任せ、子育ても会社がバックアップしてくれており、仕事だけ、家庭だけ、にならない、どちらも充実してもっと頑張れる、そんな働き方が実現出来ていると思います。(※)【ママ・ドラフト会議®って?】子育てと両立できる仕事がない、ブランクがあって自信がないなど、働きたいのに働けないママが、「私はこんなことが出来ます!」とアピールし企業とのマッチングを行います。



ママ・ドラフト会議®



齊藤さん

株式会社 エーウイング



会社概要

住所 : 立川市曙町2-34-13
 オリピック第3ビル 4F
 事業概要 : ホームページ制作・運営/グラフィック制作/映像制作/システム開発/広告
 従業員数 : 21名 (男性5名・女性16名)

豊かな発想は豊かな生き方から働きやすい環境で生産性向上へ

エーウイングは、従業員一人一人が仕事と私生活を両立出来る職場作りのために、業務の細分化や見える化に力を入れています。1つの業務を1人が専任で担当するのではなく、複数人で並行することで早く業務を終わらせ、その後の磨きに時間をかけています。そうすることで業務への理解浸透も深まります。残業が偏る場合はチームで再分担し、それでも偏りが出来る場合は部門を超えて協力することもあります。ワーク・ライフ・バランスの取り組みでは工夫やアイデアが出て、失敗に終わることも少なからずあるそうですが一つ一つ乗り越えながらより働きやすい会社を目指しています。

取り組みや制度

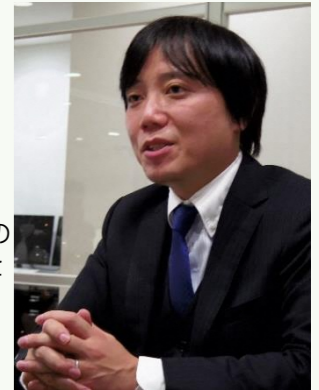
- カフェのような過ごしやすいオフィス
- お昼の開始・終了と就業終了を知らせるチャイムの導入
- 毎月会社がランチを用意しお誕生日会を開催
- 時短勤務の導入と外部託児所を整備



お誕生日会ランチの様子

～門脇社長の声～

“心が豊かな人が作った作品でなければ想いを届けることが出来ない”という考えを大切にしています。広告は人にメッセージを伝える仕事。だからこそプライベートの充実や外部研修などから得られるインプットの部分は非常に重要です。他社の働き方に触れ、どのような工夫をしているのかを社員がインプットし共有するなどして効率化を図っています。仕組みを入れたからそれでいい、ではなく、残業が偏らないようにする意識や効率的に業務を行うという意識を一人一人が常に持ち続けられるようワーク・ライフ・バランスの取り組みを進めています。



カフェのようなお洒落なオフィスでは、中心にあるくつろげるソファで団らんも。



メリハリをつけて働くことが出来るのがわが社の魅力です。デザインの仕事では集中力がが必要になりますが、午後に“集中タイム”の時間が設けられています。その時間は誰にも声掛けされることなく業務に向かうことが出来るため、仕事が大変はかどっています。早く帰って読書をしたり、ペットと遊んだりすることでリフレッシュでき、それがいいアイデアへと繋がっています。



上杉さん